

あなたのお宅には届きましたか? ぜひ、ご回答を送ってください

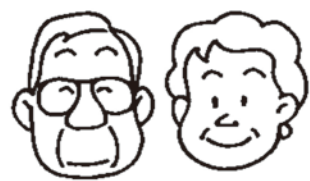


猛暑の中で多くのおみなさんのご協力により配布をすすめてきた「暮らし・子育て・高齢者に関する川崎市民アンケート」の回答がぞくぞく届いています。子育て、介護、雇用、環境問題などの実態や切実な願いが書きつづられ、具体的な地域要求もたくさん寄せられています。共産党議員がひとつひとつに対応し、要求解決にとりくみます。まだアンケートのご回答を送っていない方は、もれなくご協力をお願いいたします。
(返信用封筒は、受取人払いで切手不要です)



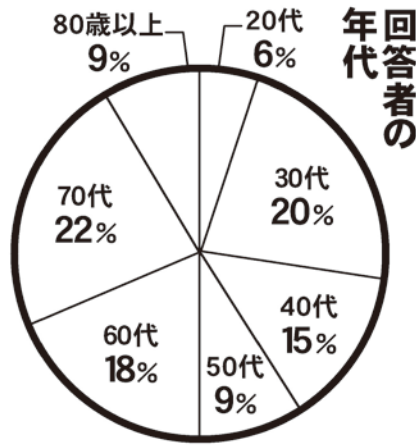
返信回答数 2,600通超す (9月17日現在)

これまでの回答の特徴(回答数2,200通時点)は、すべての行政区から、30代が20%、70代が22%、60歳未満と60歳以上がちょうど50%ずつ幅広い年齢層から寄せられています。暮らしの変化は、71%が「苦しくなった」と回答(変わらない26%)。その原因(複数選択)は、給与の減少16%、医療費の増15%、社会保険料の増14%、年金の減13%…となっています。

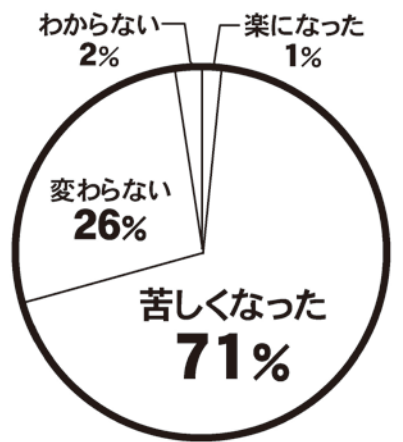


自由記述では、医療費の負担や、保育園不足、幼稚園、介護保険料が高い、雇用・就職問題などの声が目立っています。

医療費、保育園、介護、切実な声が殺到
寄せられたご意見の一部を紹介します。



【設問】あなた(世帯)の毎日の暮らしは、ここ数年、どう変わりましたか?



認可保育園に入れず困っています

昨年も一昨年も認可保育園に入れず待機のままです。仕方なく無認可保育園へ入園しておりますが、3才までしかみてもらえません。次年度も認可に入れなければ、最悪、私が仕事をやめなくては行けないでしょう。本当に認可保育園に入れずに困っています。何とかしてください。(中原区、30代、女性、正社員)

少ない年金から介護保険料天引きされ大変です

月7万円に少し足りない年金から介護保険料を天引きされ(3段階)、残りで1ヵ月生活するのは大変です。少しばかりの貯蓄をなし崩しに生活しているが、自分の生存期間が分からず不安である。医療費1割負担は絶対確保してほしい。(多摩区、70代、女性)

小学生は病院代が高く、受診を迷うことも

小学生と幼稚園の子どもがおり、どちらも病気を抱えています。幼稚園児は助成がありますが、小学生は病院代が高く、本当に困っています。少しでも悪くなるとすぐにも診てもらわないと悪化が怖いのに、お金のことを考えて受診を迷うことがあります。幼稚園児もしばらくすると小学生になり助成がなくなると本当に生活が苦しいです。(川崎区、40代、男性、正社員)

2人で月10万円の保育料は高すぎ!!

公立の幼稚園がなく私立ばかり…。入園料も保育料も高すぎる!! 毎月5万円、2人入園させたら月10万円の保育料は高すぎます。やっと1人小学校と思っても安心できず、ぜん息・アレルギーがあるので今度は医療費負担が大きい。(高津区、20代、主婦・パート)

無認可園で家賃より高い保育料

現在待機児童になり、無認可保育園へ通っていますが、毎月家賃よりも高い保育料を払っています。もともと収入がかなり少ないため、赤字が続いています。一刻も早く、認可保育園に入園したいです。本当に困っているのですが、どう生活していけば良いのでしょうか。(麻生区、30代、会社員、男性)

特養入れず家族は疲れ切っている

家族に認知症があり、特養入所を希望しているが、なかなか入所できず、介護している家族が疲れきってしまい、先が不安。少しでも早く入所できるように、今後、特養の数を増やしてほしい。待機者の家族は皆そう思っていると思う。ここ数ヵ月で容体も一気に悪くなり、精神的にも体力的にも、とても苦しい。(宮前区、50代、女性)

このようなアンケートはとても良い

このようなアンケート、いいと思います。自分の思いを伝えられるのはすごくいい。期待しています!! 川崎市は近くの世田谷、目黒に比べ、子育て世帯に優しくないと感じます。(高津区、30代、主婦)

子どもが小学生になり、医療費の自己負担が増え、長く通院が必要なために負担が多くなった。このようなアンケートがあると、市民の声を聞いてもらえると思え、とても良いことだと思います。(幸区、30代、女性、パート)

アンケート用紙、返信用封筒がまだ届いていない方は、ご連絡ください。

電話044-200-3360 日本共産党川崎市議員団
Eメールアドレス info@jcp-kawasaki.gr.jp

10月11日(月・祝)

川崎市

13:30開場/14:00開会

総合自治会館ホール

日本共産党川崎市議団 主催・秋の学習講演会

ストップ・ザ・貧困 !!

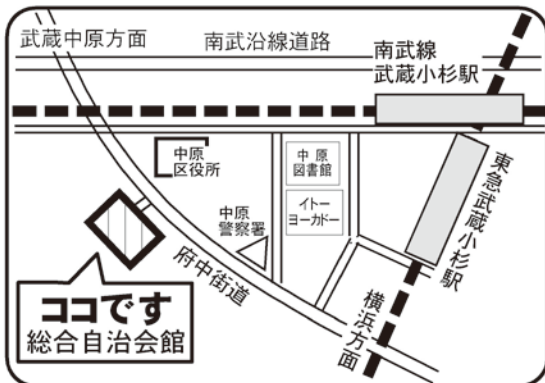


反貧困ネットワーク運動にとりくんで見えてきた 貧困の現状と打開の展望

お話 宇都宮健児 弁護士
反貧困ネットワーク代表

川崎でも貧困問題が広がっています。先頭切ってサラ金問題・多重債務問題とたたかい、新貸金業法成立に尽力してきた宇都宮弁護士から、その根底にある貧困問題の解決にむけた反貧困のネットワークを広げる運動の中で見えてきた貧困の現状と打開の展望について、お話をじっくりうかがいます。

●プロフィール●日弁連消費者問題対策委員長、全国ヤミ金融対策会議代表幹事、地下鉄サリン事件被害対策弁護団代表、オウム真理教犯罪被害者支援機構理事長、「年越し派遣村」名誉村長2010年4月から日本弁護士連合会会長/『弁護士、闘う—宇都宮健児の事件帖』(岩波書店)、『大丈夫、人生はやり直せる—サラ金、ヤミ金、貧困との闘い』(新日本出版社)など著書多数。



南武線・東横線
武蔵小杉駅より徒歩7分

参加費無料



11月13日(土)

13:30開場/14:00開会

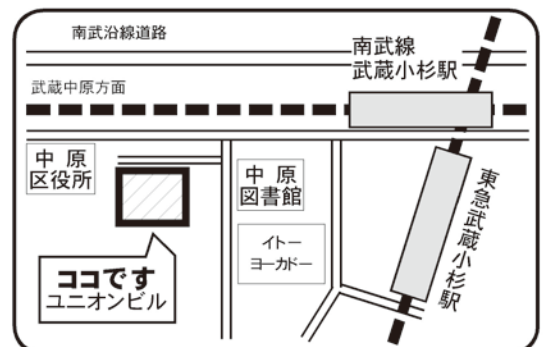
ユニオンビル 2階B・C 会議室

子どもの貧困の現状と 社会構造、国と自治体は いま何をすべきか

**お話 浅井春夫 立教大学
教授**



●プロフィール●日本福祉大学大学院(社会福祉学専攻)修了。東京の児童養護施設で12年間、児童福祉員として勤務。現在、立教大学コミュニティ福祉学部教授、専門は児童福祉論、社会福祉政策論、児童福祉実践論、性教育、子ども虐待など/全国保育団体連絡会副会長、日本生活指導学会理事、子ども虐待を考える会理事、公立保育園民営化問題・保護者の運動交流ネットワーク代表世話人、『こども白書』編集委員、『子どもの貧困』『子どもの貧困白書』(明石書店)、『子ども虐待の福祉学』(小学館)、『社会保障と保育は「子どもの貧困」にどう応えるか』『脱「子どもの貧困」への処方箋』(新日本出版社)など著書多数。



南武線・東横線 武蔵小杉駅より徒歩3分

お問い合わせ 電話 200-3360 FAX 245-4140

日本共産党川崎市議員団